

鉄人たちの夏

長良川国際トライアスロン 四半世紀

▶ 6 ◀

つた。スイム、バイク、グや、つらかった思いを
ラン、ペース配分、補給 語り合つと、話は尽きな
食のタイミング。レース い。練習もいつも仲間と
の要素や戦略の細かさ 一緒。良孝さんを含め、
に、すぐにのめり込ん バイクショップを通じて
だ。知り合つた仲間五、六人
の完走を果たしたものの トライアスロンの魅力
の、周囲とのレベルの差 はなんといいつも「仲
を痛感し「悔しさ」が残 間」。レースのハプニ
る。課題はスイム。得意の
ランに対して苦手意識が
強いが「それだけ伸びシ
ロがあるということ」と
前向き。最近では総距離が
百を越える大会にも積
極的に参加し、技術を磨
いている。

「仲間」糧に技術向上

トライアスロンを始め
て三年。経験は少ない
が、成績は県内女性のト
ップクラスを誇る。昨年
の新潟国体にも県代表と
して出場。「まだまだタ
イムを縮めたい」と闘志
を燃やす。
「夫婦で同じ趣味を持
てたら」と、ランニング
を始めたのが五十歳。二
年後、夫の良孝さん(五〇)
がトライアスロンに挑戦
する姿を見て「かっこい
い。自分もやってみた
い」と思い立った。五十
代での初挑戦。友達には
驚かれたが、恐怖も戸惑
いも感じなかった。
初レースは半年間の練
習期間を経て参加。目標

山口由美子さん(54) 女性アスリート



長良川国際トライアス
ロンには昨年出場した。
県内女性で一位、全女性
選手の中で十一位に輝い
た。長良川沿いのコース
は「風が強く、バイクが
大変」と分析。数年後
「さらにレベルアップし
て、もう一度挑戦した
い」と話す。

(岡本太)

↑
バイクの練習に励む山口由美
子さん(海津市で